

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点
 「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2020 年度 国際共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2021 年 5 月 10 日 提出

1. 研究課題名			
法政大学図書館所蔵の正岡子規文庫資料のデジタル化およびアーカイブ上での公開 (英文課題名: Digitization of "The Masaoka Shiki Collection" belong to Hosei University Library and publication on archive)			
2. 研究代表者			
氏名(ふりがな)		所属機関・職名	
NAKAMARU Nobuaki		Hosei University Faculty of Letters, Department of Japanese Professor	
3. 研究分担者 (合計: 2 名)			
氏名(ふりがな)		所属機関・職名	
ENDO Seiki		Hosei University Faculty of Letters, Department of Japanese Associate professor	
KOBAYASHI Fumiko		Hosei University Faculty of Letters, Department of Japanese Professor	
4. 研究課題の概要(300 字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)			
<p>これまで法政大学図書館の所蔵の貴重書「正岡子規文庫」のうち資料価値の高いものを撮影・デジタルデータ化し、「法政大学図書館デジタルアーカイブ」上で公開してきた。研究者から一般の利用者まで広く活用してもらえるよう、引き続き、古典籍ポータルデータベースと連携していく。</p> <p>また既存メタデータの書誌修正・整備を行うなど、デジタルアーカイブの内容品質向上に注力していく。</p> <p>なお「正岡子規文庫」は、俳人正岡子規の旧蔵書のうち和漢籍や自筆ノート等約 2100 点からなり、1949 年に法政大学へ寄贈されたものである。</p> <p>これまで図書館の事業として、すでにデジタルアーカイブサイト構築に取り組んでおり、現在貴重資料である「正岡子規文庫」「梅謙次郎文書」計 444 点約 27,800 カットが公開中である。</p>			
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)			
<ul style="list-style-type: none"> ・資料2点のデジタル化 2019 年度にデジタル化することを決定した資料2点について、撮影およびデジタル化を行い、デジタルアーカイブ上で公開した。 ・書誌修正・整備 タイトル、年号等の書誌事項の修正を行った。また、本学図書館の OPAC リプレイスに伴い、資料の請求記号が変更となったため、新しい請求記号へ付け替えを行った。 ・アクセス数について 2017 年に公開したデジタルアーカイブのアクセス数については以下の通りである。 			
2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
1905	3196	2935	4281

6. 研究業績 (日本語以外に英語名称もあるものは、できるだけ日英両言語でご記入ください)

(1) 著書

(2) 論文

(3) 研究発表等

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

(6) 受賞学術賞

(7) 科学研究費助成事業

(8) 競争的資金等(科研費を除く)

(9) その他